学校番号	403

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■美術Ⅱの内容を踏まえて「独創的な主題を生成し、個性を活かして創造的な表現を追及する絵画・彫刻」、「機能や効果を考えて独創的な主題を生成しデザインをすること」「主題にあった表現を選び、その特性を活かし創造する映像メディア表現」「作者や作品と社会の関わりを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて鑑賞すること」の４つの分野について年間を通して学習します。
■授業の進め方としては、導入時に各単元の学習内容についての意図や歴史的背景、美術理論などを、プリント等を交えて解説します。また具体的な参考作品や画像資料などを提示して、それらも発想の手がかりとして制作してもらいます。画材の扱い方や表現技法、色彩や構成の考え方については個別にも指導して行きます。また作品についての制作意図の発表なども行い、言葉によるコミュニケーション力の向上も目指します。
■学習の到達度は、題材に基づいて制作された作品と制作プロセス、授業態度、制作・鑑賞レポートなどで評価します。
■美術Ⅲでは、社会と自分と美術がどのように関わっているかを考えながら学習することで、自己と深く向かい合い、将来の進路実現に向けた意識を高めてもらいたいと願っています。
また、美術Ⅱよりも取り扱う素材の自由度や難易度が上がり、各自事前の準備が必要になることがあります。常に主体的且つ計画的に取り組むように心がけてください。

2　学習の到達目標

これまでの創造的な造形活動を踏まえて、より作品の完成度を高める。美術と社会の関わり方を考察し、美的体験を豊かにすることで、生涯にわたり美術文化を愛好する心情を育てる。また、多様な表現方法に触れることで、感性と美意識を磨き、個性豊かな作品制作をめざす。
① 美術文化に関心を持ち知識を深める。また、その良さについての理解を深め、自ら表現する技能を養う。（知識及び技能）
② 創造的な美術の表現をするために必要な思考や判断を養う。（思考力、判断力、表現力等）
③ 色やかたちの美しさが生活の質につながることを理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深め、主体的に表現することや鑑賞の能力や人間性を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や伝統的な美術文化にも関心を持ち、知識を深めている。 ・なぜ美しい形や色がと感じるかを理論的に身に付けている。 ・美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な判断を行い、意図に応じて、表現方法を工夫している。	色やかたちの美しさが生活の質につながることを理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・教科書の内容を読み、その中にある作品を抽出して、それについての感想レポートを書く。	a: 多様な表現方法や歴史背景について関心を持ちながら、主体的に作品を鑑賞し、創造活動の喜びを感じようとしている。 c： 美術作品の良さやその美しさを主体的に味わっている	レポート 振り返りシート		レポート
	クロッキー	・人物クロッキー	a：画面の大きさに応じた人物を描くことができる。 b：人体の持つ動勢を感じながら、創造的に対象を表現できている。 c：表現方法に主体性がみられる	作品	作品	授業態度 作品
	日本画に挑戦	・教室内の画集や教科書に掲載されている、明治時代以前の絵巻物や障壁画や襖絵、水墨画、浮世絵などの日本絵画を鑑賞する ・草や木のスケッチを行う ・スケッチをもとに画面を構成する ・伝統的な画材である岩絵具と和紙、金箔、墨を用いて日本画を描く。作品完成後は互いの作品の鑑賞会も行う	a:日本の伝統的な美術作品や美術文化を理解し、その美しさや良さを技能として身に付けている。また互いの作品を鑑賞し合い、多様な視点を身に付けようとしている。 b:伝統的な日本絵画を手がかりに、感性を働かせて、創造的な表現を構想できている。 岩絵具や膠、和紙、金箔、墨の特性を理解し、表現する工夫がある。 c：日本絵画の歴史やその表現方法に関心を示し、主体的に表現しようとしている。	作品 製作途中の作品 振り返りシート	作品 製作途中の作品 アイデアスケッチ	作品 製作途中の作品

2学期	クロッキー	・人物クロッキー	a：画面の大きさに応じた人物を描くことができる。 ｂ：人体の持つ動勢を感じながら、創造的に対象を表現できている。 ｃ：表現方法に工夫がみられる	作品	作品	授業態度 作品
	モビールを制作しそれを使って映像をつくろ	・作る立体のテーマを決める ・テーマに沿って吊るせる立体を制作する ・その作品がメインとなるテーマに合う画像映像作品を制作する ・作品のプレゼンテーションを行う・自分自身でテーマを決め自分自身を題材にポーズを考える。	a:立体作品の構造を考え、平面図にすることができる。 ｄ：画像・映像作品の特性を理解し、自己の美意識を創造的に表現しようとしている。 ｃ：立体に相応しい独創的な主題を生成し、創造的な構想ができている。動く立体に興味を持ち、主体的に表現しようとしている。	アイディアスケッチ 作品 制作途中の作品 振り返りシート	作品 制作途中の作品	授業態度 作品
3学期	クロッキー	・人物クロッキー	a：画面の大きさに応じた人物を描くことができる。 ｂ：人体の持つ動勢を感じながら、創造的に対象を表現できている。 ｃ：表現方法に工夫がみられる。	作品	作品	授業態度 作品
	身近な目的を持つデザイン	・身近な生活や学校生活にかかわるテーマを基に目的や対象を意識したデザイン制作を行う。 ・アイデアスケッチを通して構想を練り、配色や構成、文字や図形の扱いを工夫しながら、平面作品として表現する。 ・制作を通して、デザインにおける視覚的効果や情報伝達の工夫について理解を深める。	a:デザインの基本となる要素や配色・構成を理解し、適切に表現している。 b:目的や対象を考え、効果的な構想や表現を工夫している。 c:意欲的に政策に取り組み、最後まで作品を完成させている。	作品 制作途中の作品 振り返りシート	作品 制作途中の作品	授業態度 作品 制作途中の作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度